

## 令和4年度スタート

桜が少し芽吹きはじめた4月6日(水)に、校長は阿賀野高校が目指す3つの視点について生徒に話をしました。

- 社会で自立するために生きる力を身につける
- 「学ぶ」ことの大切さを知る
- 保護者や地域の期待と信頼に応える



<満開の桜と阿賀野高校>

## 入学式

4月6日(金)令和4年度入学式が挙行されました。当日は、真新しい制服に身を包み、緊張しながらも期待に胸膨らむ一年生36名を新入生として迎えました。

式辞で校長は「自分の強みを活かすこと、言葉で仲間に気持ちを伝えること、感謝の気持ちを持って接すること、相手の立場を理解しながらコミュニケーションを図ってほしい」と述べました。

新入生代表のあいさつでは「今日から、三年間共に学び、助け合い成長する仲間として、これから阿賀野高校で、人とのつながりを大切に頑張りたい」と力強く宣誓を聞くことが出来ました。

## 対面式・部活動紹介



<対面式の様子>

4月7日(木)に対面式が行われ、校長と生徒会長が新入生に歓迎のあいさつをしました。新入生代表の生徒は、先輩から多くを学び一日も早く阿賀野高校の一員になりたいと述べました。その後、新入生への部活動紹介が行われました。



2年生の2名による  
キレイのあるダンス!  
でした

<部活動紹介でのダンス同好会の舞い>

## 生徒指導講話

4月28日(木)6限、全校生徒対象に阿賀野市警察署交通課長秋山圭介様をお招きし、御自身の東日本大震災のときの経験、道路交通法上の自転車、歩行者が注意すべきポイントを改めて、ご講演をいただきました。大変ありがとうございました。



震災時の実体験  
は涙を誘いました。  
泣

<真剣に講話を聞く生徒たち>

## <校長のひとり言>

コロナ禍3年目。令和4年度がスタートしました。教職員が変わり、新入生たちのあいさつも清々しく気分一新。今年度も宜しくお願いします。

表題の「青き稜線」とは校歌の一節です。眩しき雪嶺、阿賀野の清風と歌詞は続きます。皆で大きな声で歌えない時世ですが、地域と自然を大切にする設立時の思いを感じます。

今年は、学校行事を中心に毎月、生徒の様子を伝えながら、つれづれに校長のひとり言をアップして参ります。よろしくおねがいします 学校長 江川 真